

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16100005	注入方式による体内留置式超小型電氣的神経機能調節・制御装置の開発	半田 康延（東北大学・大学院医学系研究科・教授）	B
<p>本研究では、超小型埋込み式電気刺激装置を開発し、ウサギを用いた実験でその有用性を実証するとともに、表面電極を用いヒトを対象にして、FESによる神経調節効果の有効性を示すなど、研究に一応の進展があった。しかし、中間評価での指摘事項のうち「体外励磁コイルの開発を促進させる事」については対応されたものの、「埋め込み材料の生体適合性」に関しては、動物に埋め込んだ電極の周囲の組織観察を行ったに過ぎず、材料の生体適合性確認のための基礎的研究は行われなかった。</p>			